



デジタル原稿制作ガイド

Ver.6.3



信濃毎日新聞

2023.10

基本的な注意事項 / 制作環境

■ 基本的な注意事項

保存形式

PDF/X1-a (2001)

フォント

全てアウトライン化

カラーモード

【モノクロ原稿】 グレースケール

モノクロ2階調

【カラー単色原稿】 CMYK (RGB 不可)

囲みケイ

原則として囲みケイを巻くこと

(全面広告のみ囲みケイ無し可とする)

PDF 入稿の場合ドキュメントサイズを入稿サイズとすること

配置画像

TIFF、PSD、EPS (TIFF 形式を推奨します)

リンク、埋め込みはバージョン、使用機能によって使い分ける

画像の入力解像度

【グレースケール】 170ppi~350ppi

【モノクロ2階調】 1200ppi

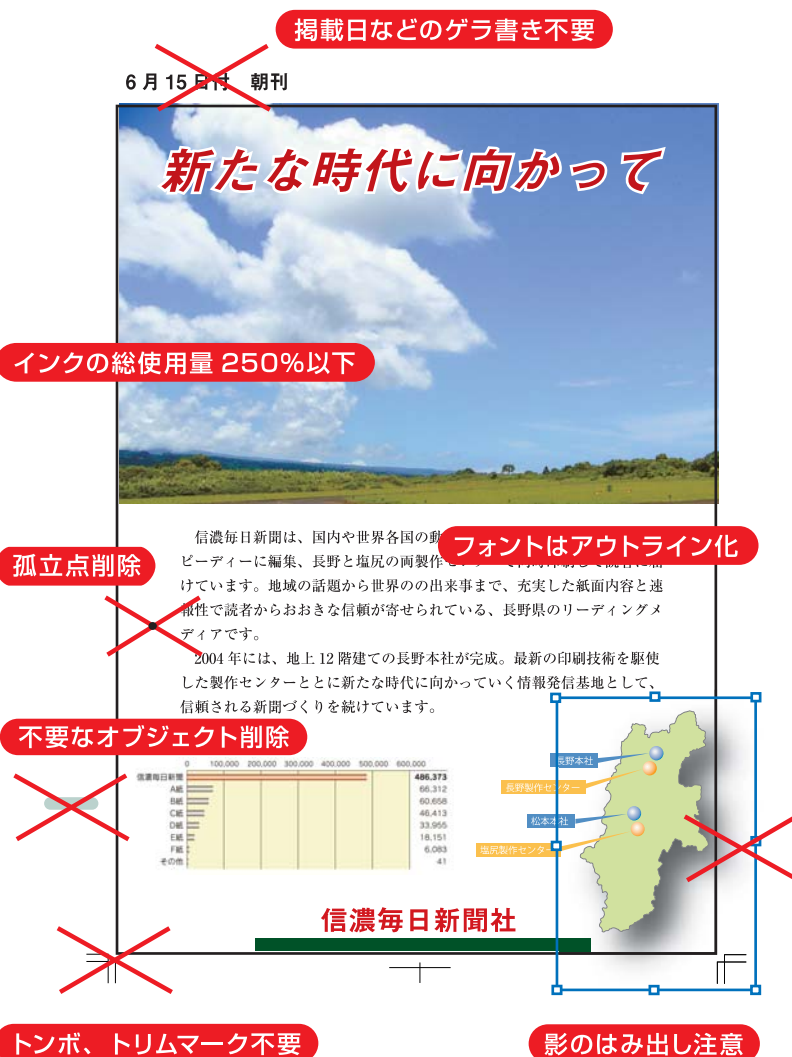
【CMYK】 240ppi~350ppi

写真のインキの総使用量

250%以内

ファイルサイズ

400MB 以内



■ 制作環境

OS MAC OS 8.1 以上 (Windows 不可)

Illustrator CS3 以上

InDesign CS4 以上 (カラー広告の PDF 入稿時のみ)
但し、Photoshop EPS 画像使用不可

Photoshop バージョンを問いません

Acrobat Pro PDF の入稿の場合 バージョン 9 以上でのプリ
フライト必須

各アプリケーションのバージョンとも最新 (最終) アップデート
したものを使用してください。

入稿方法

	オフライン	オンライン (Presto)
フォーマット	PDF	PDF
必要なもの	①データ ②ゲラ ③デジタル原稿送稿表	①データ ②カラー単色広告は色見本ゲラを別途入稿
メディア	CD-R CD-RW (ハードケースに入れてください) 「Mac OS 拡張HFS+」でフォーマット	
データ	PDF ファイルのみ入稿	PDF ファイル
ゲラ	モノクロ 2 枚 カラー単色 4 枚	モノクロ 不要 カラー単色 4 枚
ファイル名	掲載日 (4 ケタ) + 広告主名 + 原稿サイズ + 拡張子 (段 = d、割 = w、センチ = c) (例) 0401 広告主名 5d2w.pdf 0421 広告主名 2d4c.pdf 拡張子前の「.」と「_」以外の半角記号は使用不可 (/ * : - # など)	
データ圧縮	圧縮、解凍時にデータが破損する恐れがあるので、使用しないでください。	
締め切り	掲載日 2 日前 (土曜・日曜・祝日をはさむ場合はその日数を加算) ※カラー色見本ゲラがある場合は掲載日 3 日前までに入稿	

デジタル原稿送稿表	
掲載日	月 日 (曜日) ☐ 朝刊 ☐ 夕刊 ☐ その他 ()
版 別	☐ 全版 ☐ 東北版 ☐ 中部版
広告主名	
サイズ	段 /
色	☐ モノクロ ☐ カラー ☐ 黒色op ()
制作情報	
アプリケーション	Illustrator バージョン () PDF EPS Indesign バージョン () PDF (モノクロ不可)
広告会社	社名 担当者 TEL FAX
制作会社	社名 担当者 TEL FAX
制作上の連絡事項	
送信先は新聞社 広告掲載管理部門 TEL: 024(236)3302 FAX: 024(236)3309 E-mail: a-senboku@shimadai.co.jp	

デジタル原稿送稿表



日本新聞協会が、2006年10月に発表し、2017年6月に改定した、新聞輪転機の印刷特性を反映するカラー広告色見本プロファイルです。以前は、新聞輪転機の色再現域を超えた色見本が入稿され、各新聞社で独自の方法で近づける努力がされてきました。これが、新聞社間で色がばらつく原因にもなっていました。

NSAC は新聞協会加盟社でのテスト印刷をもとに策定され、実際の新聞印刷の色に近いものになっています。

NSAC を利用すると、原稿制作から色見本ゲラの作成、最終印刷までバラツキが少なく質の高い、より広告主の要望に応えるカラー広告が実現できます。

詳しくは日本新聞協会

<http://www.pressnet.or.jp/adarc/edi/nsac01.html>

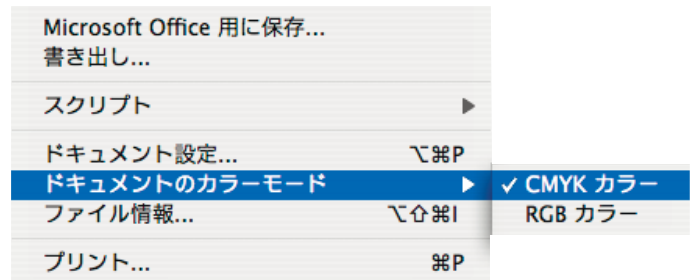
デジタルセンドによる入稿も、PDFのみ受け付けます。

2020年2月よりEPS入稿を廃止しました。

弊社発行タブロイド「週刊さくだいら」「週刊うえだ」「とわいえ」につきましては原稿の入稿フォーマットが異なりますので、各媒体資料に記載のお問い合わせ先にお問い合わせください。

■ カラーモード

ドキュメントのカラーモードは CMYK カラー
新規ドキュメント作成時から CMYK カラーを選択し
てください。
モノクロ広告に CMY の色が入らないよう注意してく
ださい。(特に透明効果やラスタライズ効果)

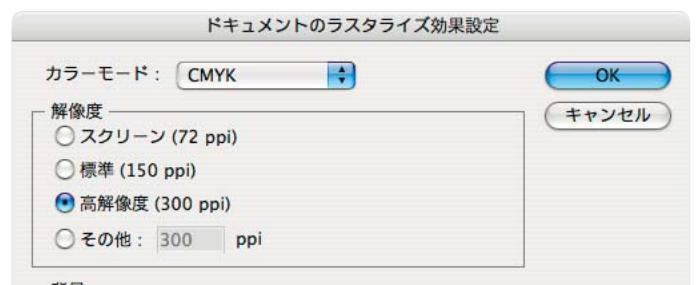


RGB モードでしか使用できない機能を使う時など
に CMYK モードから RGB モードに変換すると、
埋め込み画像やオブジェクトの CMYK 値が変化し
てしまいます。

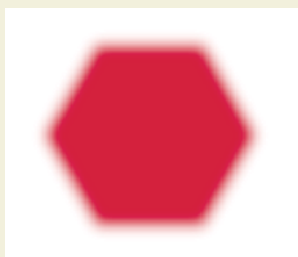
■ 効果メニュー

「ドキュメントのラスタライズ効果設定」の解像度は
「高解像度」を選択。
制作を始める前に設定してください。
モノクロ広告では必ず「グレー」を選択する。

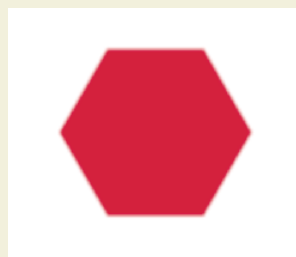
CS3以降では新規ドキュメント作成時に設定でき
ます。



解像度に依存する効果は再設定するとアピアランスを維持できません。
必ず制作を始める前に設定してください。



ラスタライズ効果 72dpi でぼかしを適用



ラスタライズ効果を高解像度に変更

■ 透明の分割統合プリセット

CS3

「ドキュメント設定」-「透明」-「書き出しとクリップボード」における分割・統合の設定を高解像度に設定。

CS4～

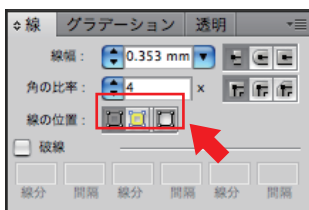
「ドキュメント設定」-「透明」-「プリセット」のプリセットを高解像度に設定



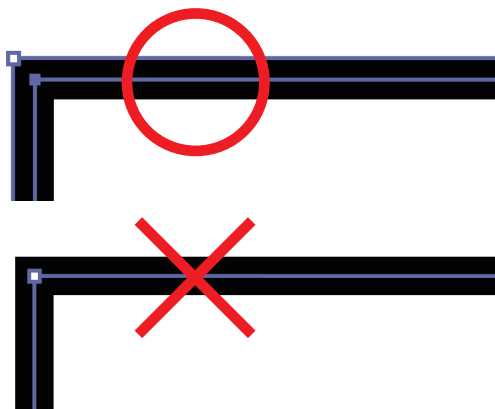
■ 囲みケイ

サイズはケイの外側で正確にとってください。

- ①ケイの太さ分マイナスしたサイズで長方形を書く
- ②「パスのアウトライン」で外側のサイズにあわせる
- ③線の位置を「内側」でとる



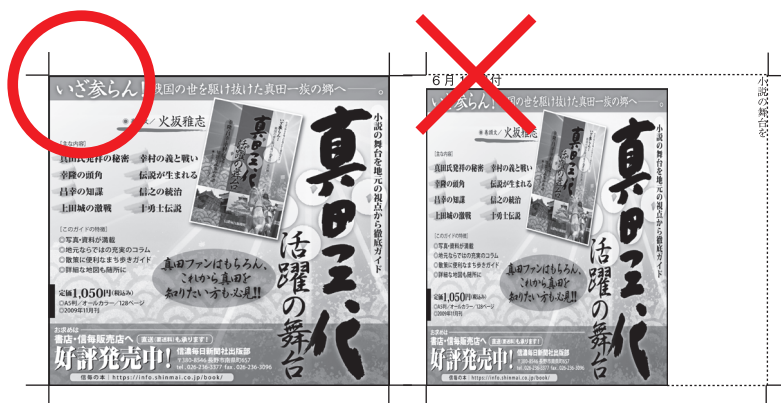
原則として囲みケイを巻いてください
(全面広告のみ囲みケイ無しも可)



■ 原稿サイズ

囲みケイの外側に不要なオブジェクトがあると、その不要なオブジェクトを含めたサイズで掲載されます。

ドロップシャドウなどの影のはみだしに注意。



正しい 5 段 1/2

原稿枠外右に制作途中のオブジェクトが残っている

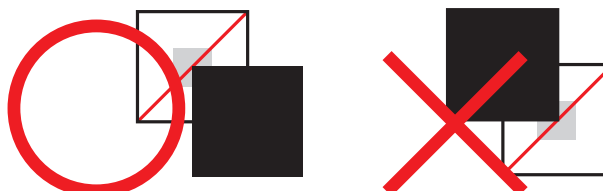


「分割・統合プレビュー」ウィンドウを開き、「透明オブジェクト」を確認すると、はみ出ている透明オブジェクトを検出できます。



■ 線幅

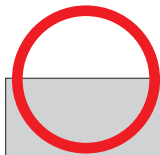
0.25 ポイント (0.09 ミリ) 以上の線幅を設定。
塗りだけの線は再現できません。



■ドキュメントサイズ

ドキュメントサイズを広告サイズにあわせてください。

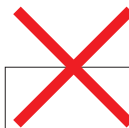
(A4サイズで制作を行い、ドキュメントサイズを変更しないで PDF を書き出すと A4 サイズのままで書き出されてしまいます。)



ドキュメントサイズが広告サイズと同じ



広告サイズで掲載される



ドキュメントサイズが A4 サイズ



変形されて掲載される

■囲みケイを巻かない広告



囲みケイを巻かなくても良いのは全面広告のみです。記事下広告には必ず、囲みケイを巻いてください。

■配置画像

配置画像はリンクでも埋め込みでも可です。

Illustrator のバージョンや使用機能に応じて使い分けてください。

■ 文字

フォントは全てアウトライン化。
文字サイズは原則 6 ポイント以上。



4色掛け合わせの背景に白抜き文字を使用する場合、わずかな版ズレでも文字が潰れて読みにくくなるなどのトラブルにつながりますので、できるだけ大きい文字の使用をおすすめします。

特に明朝体などの細いフォントはご注意ください。

また、4色掛け合わせの黒の背景に白抜き文字を使用する場合は黒 1 色 (K 版) のみにしてください。

同様に、4色掛け合わせの黒文字につきましても黒 1 色 (K 版) のみにしてください。



下記のようなアウトラインをとれていないケースがありますので、入稿前に「フォントの置換・検索」「孤立点選択」を行ってチェックしてください。

- ・フォント部分にロックをかけてありアウトライン化できていない
- ・フォントの孤立点が残っている
- ・スウォッチ、パターン、シンボルなどにフォントを含んだものが登録されている

Photoshop のグレースケール、CMYK で文字を扱わないでください。ジャギーが出て解像度によっては判読できなくなります。

信

Illustrator の文字

信

PhotoShop の文字

■ パターン

パターンは分割してから入稿してください。

■ ライダー

EPSF ライダーファイルは使用できません。

■ レイヤー

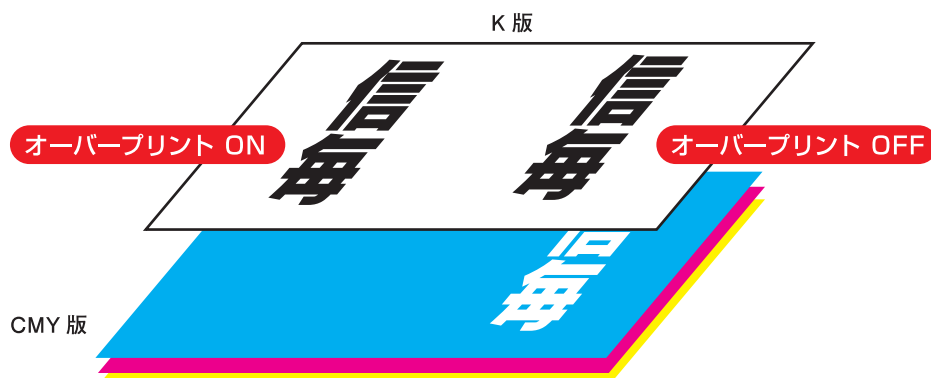
レイヤーは 1 枚に統合してください。

■ 非表示

「レイヤーの非表示」や「隠す」などの機能でオブジェクトを非表示にしたまま入稿しないでください。

■ オーバープリント

他の色と重なる K 版部分には、ブラックオーバープリントまたはトラッピングの処理をしてください。



黒以外のオブジェクトにオーバープリント設定しないでください。意図しない色で印刷されてしまいます。白いオブジェクトにオーバープリント設定するとそのオブジェクトはなくなってしまいます。



「オーバープリントプレビュー」で、不要なオーバープリントが設定されていないかチェックしてください

効果	表示	ウィンドウ	ヘルプ
アウトライン			⌘Y
オーバープリントプレビュー		⌘⇧Y	
ピクセルプレビュー		⌘⇧Y	

色にオーバープリント



印刷結果



白にオーバープリント



印刷結果

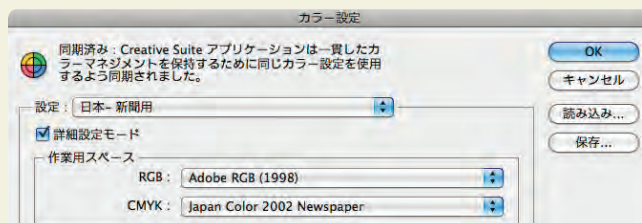


■インキの総使用量（TAC 値）

リッチブラックの CMYK の合計値は 200%以内に、
その他の色では 250%以内に設定してください。



茶、えんじ、深緑など比較的網点量の多い色は急速に黒に近づいていくので注意が必要です。カラー設定を「Japan Color 2002 Newspaper」に設定し、新聞用の画面で配色すると、印刷結果がイメージし易くなります。

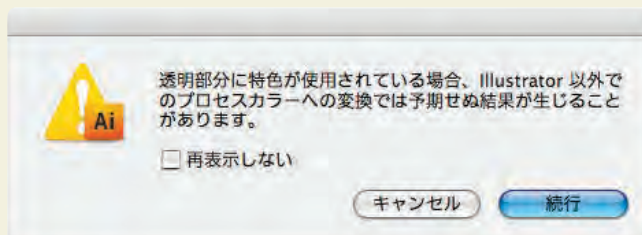
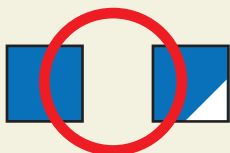


■カスタムカラー

DIC、PANTONE、TOYO などのカスタムカラーは使用できません。透明部分の近くでカスタムカラーを使用すると抜け落ちることがあります。



スウォッチへの色の登録はプロセスカラーとして登録してください。



■単色広告

カラー対応（K 版+1 版）または（K 版 +2 版）で入稿してください。

サカタの単色番号（OP-〇〇〇）をお知らせいただければ、色の配合をお知らせします。

〈C100 M60〉の色の 50%の色は〈C50 M30〉、30%の色は〈C30 M18〉となり 10 対 6 の比率は常に守られていなければなりません。

同一原稿内に〈C30 M60〉や〈C100 M0〉などオリジナル色の比率と異なる配色はできません。



■ カラーユニバーサルデザイン

IllustratorCS4 では色弱者の見え方をシミュレートできるようになりました。新聞広告は、大事な情報を一般色覚者だけでなく色弱の方にも十分に伝わるデザインでなければなりません。

■ 確認方法

「表示」 - 「色の校正」 - 「P 型（1 型）色覚」または「D 型（2 型）色覚」を選択すると、画面の色が変更されます。

上下に重なる色、隣り合う色に注意して配色しないと色弱者が全く判読できない可能性があります。地図や会場図などわかり易く色をつけたつもりが、つけた色が邪魔をして識別できなくなることもあります。



- C 型** 一般色覚者
 - P 型** 赤を感じる錐体が無い、または緑に似通って感じてしまう
 - D 型** 緑を感じる錐体が無い、または赤に似通って感じてしまう
- 日本人男性 20 人に 1 人は色弱者です



C 型の人の見え方



P 型の人の見え方



D 型の人の見え方



対処方法

【上記最上段（緑地にオレンジ文字）の例 P 型の人に見易くするには】

色を変える



色の濃さを変える



白マドでハッキリさせる



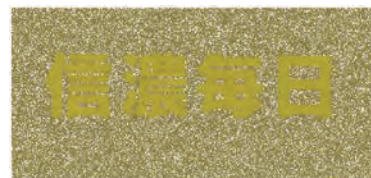
白フチや境界線を設ける



影をつける



スクリーントーンやテクスチャー



■ 色校正グラについて

色校正グラは印刷現場が色の見本として使用します。新聞印刷の色域より広い色域で表現された色見本や、色のずれたプリンタで印刷したもの、カラーコピーなどでは、色見本になりません。以下のいずれかの色見本をご用意ください。

① NSAC 色見本

NSAC は日本新聞協会で定めた新聞広告用の色基準です。(詳細は P3) 弊社の印刷では NSAC より広い色再現域を持っており、NSAC を確実に再現することができます。

平台校正のグラや、ざら紙を使用しコート紙の色域で印刷されたグラのように新聞印刷の色域を再現していないものは色見本として使用できません。



② Illustrator によるシミュレーションプリント

「プロファイルの指定」から「Japan color 2002 Newspaper」を選び、Illustrator の表示を新聞用にする。

この状態で配色を確認し、プリンタの ICC プロファイルを利用して Illustrator 側でのカラーマネジメントによってプリントアウトする。その際、プリンタドライバ側のカラーマネジメントを無効にしておく必要があります。

この方法でプリントアウトすると、プリンタ独自の色ではなく新聞印刷をシミュレーションしたプリントアウトが可能になります。詳しくは

<https://helpx.adobe.com/jp/illustrator/using/printing-color-management.html>

(カラーマネジメントを使用したプリント)



■ TIFF

【画像圧縮】

なし LZW ZIP

【ピクセルの順序】

インターリーブ

【バイト順序】

Macintosh

【画像ピラミッドを保存】

OFF



■ EPS

【プレビュー】

TIFF (1bit または 8bit)

【エンコーディング】

[OSX] ASCII85

【ハーフトーンスクリーン】

原則として OFF

【トランスファー関数】

原則として OFF

【ポストスクリプトカラーマネジメント】

OFF



PDF 入稿の場合、EPS 画像を使用すると白いスジが入ったり解像度が落ちてしまうなど不具合が発生する場合があります。PDF 入稿では TIFF 形式を推奨します。

■ PSD

レイヤーは統合して下さい

■ カラーモード

【モノクロ】

グレースケール

モノクロ 2 階調 (TIFF、PSD 形式を推奨)

【カラー】

CMYK (RGB ダブルトーン不可)

■ 解像度

【グレースケール】

170ppi~350ppi

【モノクロ2階調】

1200ppi

【CMYK】

240ppi~350ppi



超高精細 AM スクリーン (モノクロ 200 線 カラー 400 線) を使用していますが、一般に言われている線数の2倍の解像度は必要ありません。

■ カラー設定

【RGB】

元の RGB 画像にあわせる

【CMYK】

「Japan Color 2002 Newspaper」を選択。

【グレイ】

Dot Gain 25%

【カラーマネジメントポリシー】

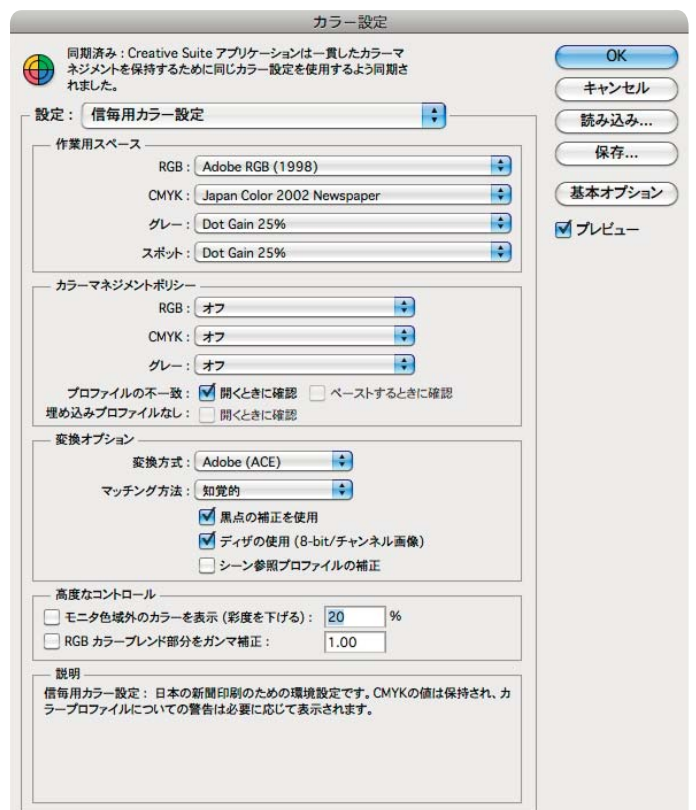
全てオフにして ICC プロファイルが埋め込まれないようにしてください。

【変換方式】

Adobe (ACE)

【マッチング方式】

知覚的または相対的な色域を維持



印刷ターゲットに合わせたカラー設定で作業することは Photoshop を操作する上でもっとも基本的で重要な設定です。CMYK の設定を「JapanColor 2002 Newspaper」にすることで①Photoshop の画面を新聞印刷結果に近づけることができる、②RGB から CMYK に変換した時に新聞用の画像に変換できるの2つの効果があります。このカラー設定にしてデータを保存し直しただけではなにもデータは変わりません。また、Illustrator にも同様の設定があり、同期をとるとモニター上同じ色で作業できます。

■ ハーフトーンスクリーン

使用不可。

■ ポストスクリプトカラーマネジメント

意図しない色味に変換されてしまいます。絶対にチェックをつけないでください。

■ ICC プロファイル

意図しない色味に変換されてしまう可能性があるため、ICC プロファイルが埋め込まれないよう「カラーマネジメントポリシー」を設定してください。

■ ダブルトーン

使用しないでください。同様の効果は CMYK モードで表現してください。

■ レイヤー

原則的に画像統合してください。

■ トリミング

Illustrator 上でマスク処理をすると不要な部分のデータが含まれ、データ量が大きくなってしまいます。Photoshop でトリミングして配置してください。

■ 二次元コード

二次元コードは**モノクロ 2 階調**（解像度：**600ppi 以上・1200ppi 推奨**）で入稿してください。

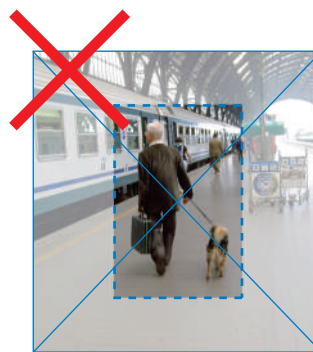
Photoshop のグレースケール、CMYK モードは、端末で読めなくなる可能性が高くなるため不可。

配置する際は、イラストレータ上で**拡張は行わず原寸**で使用してください。

ホームページ上に掲載されている二次元コードは解像度が 72ppi と低いので、新聞広告に転用しないでください。

カラーの二次元コードは必ず illustrator でトレースしてください。

掲載サイズは全体の大きさが 1cm 四方以上、セル一辺のサイズは 0.35mm 以上となるようにしてください。



Illustrator 上でマスク
32.5MB



Photoshop でトリミング
6.1MB



二次元コードのまわりには4セル以上の余白が必要です。地色は原則として白にしてください。

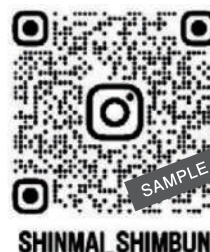
二次元コード内の**最小セル**が下の例程度の大きさを推奨いたします。

最小セルが下の例示よりも小さい場合、端末で読み取れない可能性があります。

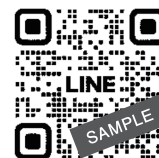
二次元コード※



Instagram



LINE



SHINMAI_SHIMBUN

※X（旧 Twitter）・Facebook など二次元コードの中央にロゴ、画像が表示されるタイプも含まれます。

■ インキの総使用量（TAC 値）

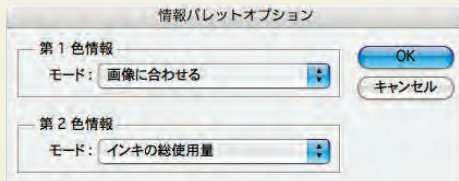
CMYK の合計値が 250%を超えないように分解してください。



確認方法

①

「情報」パレットの「パレットオプション」を開き、「第2色情報」で「インキの総使用量」を選択



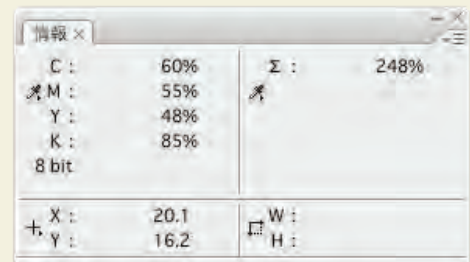
②

画像の最暗部にカーソルを合わせる



③

右のΣの値が CMYK の合計値



修正方法の一例

元の RGB 素材がある場合は、RGB 素材からやり直してください。P13 の「カラー設定」のように、CMYK の作業スペースに「Japan Color 2002 Newspaper」を選択した状態で CMYK 変換すれば、インキの総使用量が 240%の画像を作る事ができます。

CMYK 素材しかない場合は、以下の「プロファイル変換」機能を使うと、比較的きれいな新聞用画像に変換できます。

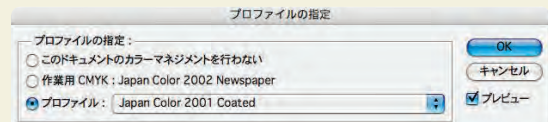
ICC プロファイルの埋め込まれた画像

埋め込まれた ICC プロファイルを使用して画像を開く



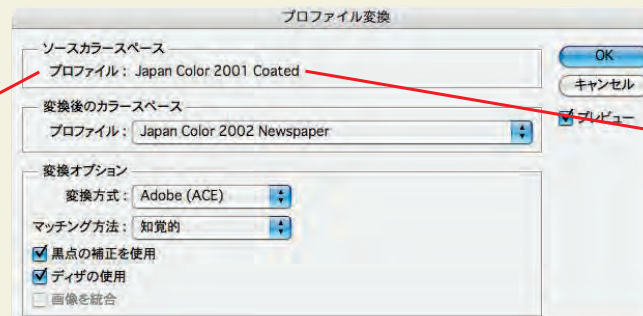
ICC プロファイルの埋め込まれていない画像

「編集」-「プロファイルの指定」で開いた画像に最適なプロファイルを指定する。コート紙用に分解されている画像が多いので、「Japan color 2001 coated」を選択すると良い



「編集」-「プロファイル変換」の「変換後のカラー空間」に「Japan Color 2002 Newspaper」を選び、色空間を変換する

埋め込まれた ICC プロファイルが表示される



「プロファイルの指定」で選んだ ICC プロファイルが表示される

コート紙用の色空間から比較的狭い色空間の新聞用に変換しているので、色が変化している部分があります。また「Japan Color 2002 Newspaper」はインキの総使用量が 240%なので、信毎のインキ総使用量制限値の 250%を守りながら、色の補正を行ってください。特に彩度不足に注意してください。

■ PDFX1-a 形式で入稿するには

PDFX1-a 作成用の「AdobePDF プリセット」およびデータ検証用「プリフライトプロファイル」のインストールを行う必要があります。下記のいずれかを使用してください。

「信毎用プリセット」

「N-PDF」(日本広告業協会)

PDFX1-a 作成後に必ず Adobe Acrobat9 PRO 以降でプリフライトし、エラーが無いことを確認してください。

信毎用 信毎メディアガイド

<http://ad.shinmai.co.jp/guide/index.html>

N-PDF 日本広告業協会

https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/

AdobePDF プリセット カラー単色モノクロ共通



信毎 PDFX1-a.joboptions

AcrobatProfessional 用 プリフライトプロファイル



信毎カラー単色 x1a_v2.kfp



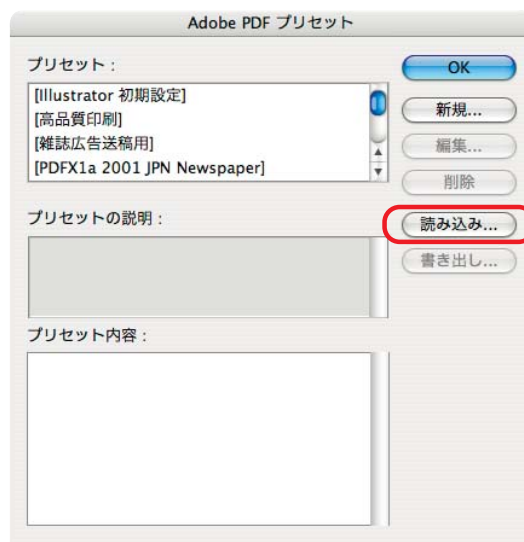
信毎モノクロ x1a_v2.kfp

■ AdobePDF プリセットのインストール方法

Illustrator CS3以降

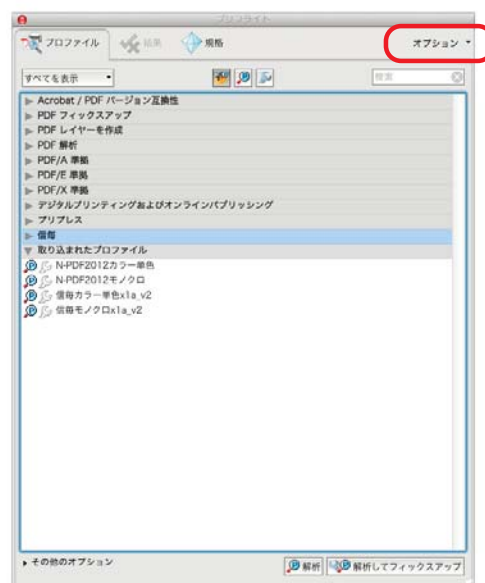
「編集」-「Adobe PDF プリセット」を選択し、「読み込み」からダウンロードした「信毎 PDFX1-a.joboptions」を読み込む。

Illustrator からインストールすれば InDesign でも使用できます。



■ プリフライトプロファイルのインストール方法

Acrobat9以降の Professional (Standard は不可) 「アドバンスド」-「プリフライト」(ver.9) または「編集」-「プリフライト」(ver.10) を選択。オプションから「プリフライトプロファイルを取り込み」を選択し、ダウンロードした「信毎カラー単色 x1a_v2.kfp」および「信毎モノクロ x1a_v2.kfp」をインストールする。



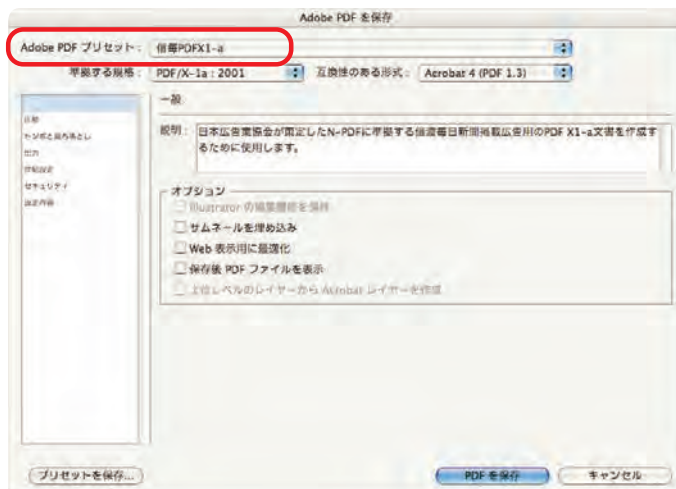
■ Illustrator から PDF を書き出す方法

「別名で保存」「複製を保存」時のフォーマットで「Adobe PDF (pdf)」を選択。

Adobe PDF プリセットに「信毎 PDFX1-a」を選択する。各種設定は変更しないで保存。



Acrobat Distiller やその他のアプリケーションから作成した PDF の入稿はできません



PDF 入稿で注意点

サイズ

EPS 入稿ではアートボードのサイズは A4 や A3 サイズで問題ありませんでしたが、PDF 入稿では必ず、アートボードサイズを広告サイズに設定する必要があります。新規ドキュメント設定で正しい広告サイズを入力してください。裁ち落としは不要。在版手直し原稿には注意してください。



Acrobat で開いた時に左下に表示されるサイズが広告サイズに合っているか確認してください。また、プリフライト結果にもページサイズが表示されます。



囲みケイ

アートボードサイズの内側がデータ領域になります。外側にはみ出している囲みケイは切れてしまいます。

ケイの太さが半分になってしまう



■ PDF/X1-a のデータの検証 (プリフライト)

PDF/x1-a 形式で入稿する場合は必ず Adobe Acrobat の「プリフライト」で検証し、エラーが表示されるデータは入稿できません。カラー広告はインキの総使用量を確認の上、入稿してください。

プリフライト

「アドバンスド」-「プリフライト」(ver.9) または「編集」-「プリフライト」(ver.10) を選択。カラー、モノクロに合わせデータごとに「解析」を行う。

情報 問題ありません

警告 画像品質等にあるので確認してください

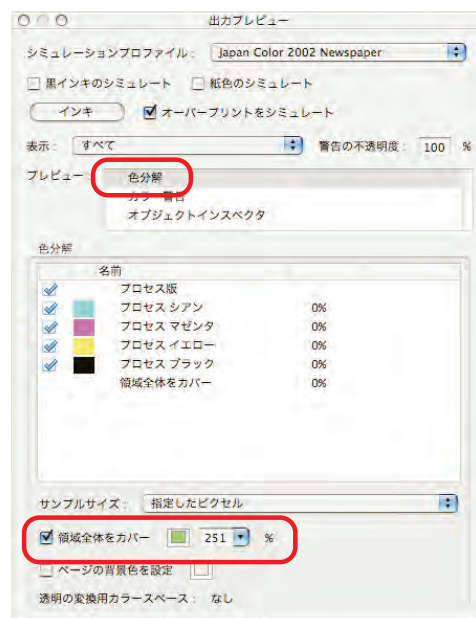
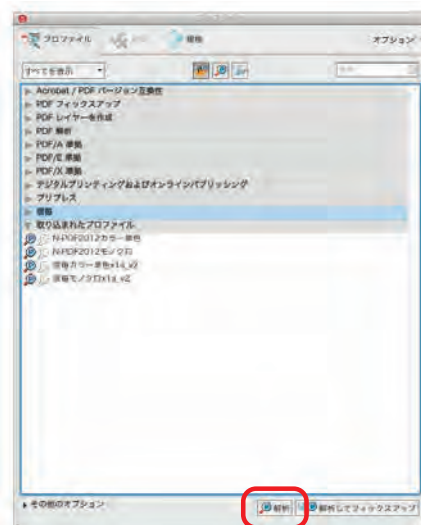
エラー データの不備や、印刷品質に問題を起こす可能性があるために入稿できません

インキの総使用量の確認

「アドバンスド」-「印刷工程」-「出力プレビュー」(ver.9) または「ツール」-「印刷工程」-「出力プレビュー」(ver.10) を選択。

『プレビュー:色分解』を選択し、「領域全体をカバー」にチェックを入れ、251%を入力する。

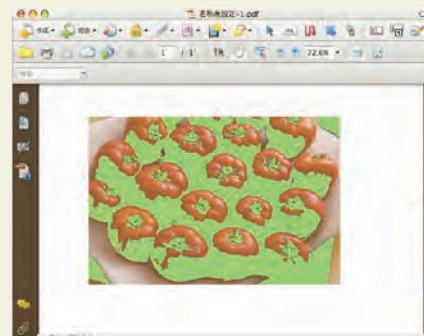
インキの総使用量制限は 250%以内です。



警告 画像のインキの総使用量が 250%を超えているのはコート紙用に CMYK 分解されている可能性があります。P15 を参考に新聞用に調整してください。



250%以内の画像



250%を超えている画像
超えている部分が緑色にハイライトされる

■ PDF 変換時におこる不具合

PDF では PDF に変換した時点で不具合が発生します。

そのような PDF を入稿した場合は、そのまま掲載されてしまいます。以下の点には特にご注意ください。

正しい Illustrator



PDF変換

囲みケイがドキュメントの外側にはみ出ているため細くなった

EPS画像には白い線が入ることがあります

パターンが消えた

白にオーバープリント指定があり社名が消えた



EPS画像のポストスクリプトカラーマネジメントにチェックが入っていたため、色が変化した

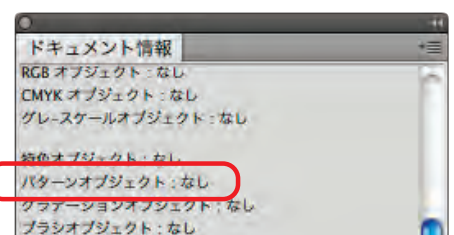
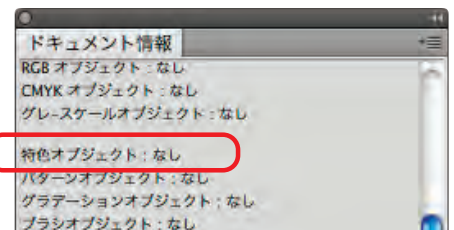
青が特色指定のため消えた

緑色にオーバープリント指定があったため下の黒と色が混ざった

■ プリフライトでのエラー、警告の例と対処方法

【カラーモノクロ共通】

- ✕ PDF 文書が PDF/X1-a (2001) 準拠ではない**
 「信毎 PDFX1-a」または「N-PDF」プリセットをダウンロードし PDF を作成してください。
- ✕ Distiller で作成された PDF**
 Illustrator、InDesign から直接 PDF を書き出してください。
- ✕ IllustratorCS CS2 で作成された PDF**
 IllustratorCS、CS2 で作成された PDF は、PhotoShop の EPS 画像を使用していると画像内に白い線が発生してしまいます。CS3 以降で PDF を作成してください。
- ✕ ファイルサイズが 400MB を超えている**
 写真の解像度を適切にし、400MB 以内に抑える。
- ✕ フォントが埋め込まれている（完全またはサブセット）**
 フォントはアウトライン化してください。
- ✕ 特色が使用されている**
 特色と透明効果が合わさると予期しない結果が生じるおそれがあります。（P9参照）特色オブジェクトを CMYK に変換、または「スウォッチ」内のカスタムカラーをプロセスカラーに変換などの方法で、特色をすべて CMYK にしてください。「ドキュメント情報」-「オブジェクト」で「特色オブジェクト」が 0 になっていることを確認してください。
- ✕ 4C または特色以外のカラーを使用パターン不可**
 パターンの使用は予期しない結果を生じることがあります。パターンを「分割・拡張」して、「ドキュメント情報」-「オブジェクト」で「パターン」が 0 になっていることを確認してください。
- ✕ 一枚画像です（ベクトルオブジェクトがありません）**
 すべてのデータがラスターライズされた一枚画像での入稿は不可。
- ✕ ページ領域内に注釈がある**
- ✕ 3D 注釈使用されている**
- ✕ この種類の注釈は許可されない**
- ✕ 注釈が印刷対象に設定されている**
- ✕ 注釈に特定のプラグインが必要**
 注釈は使用不可。削除してください。



- ❌ 白のオブジェクトが抜きに設定されていない
- ❌ 白のオブジェクトが抜き（ストローク）に設定されていない
- ❌ 白塗りのオーバープリント
白いオブジェクトにオーバープリントの指定があると、そのオブジェクトは消えてしまいます。（P8参照）オーバープリントの指定を外してください。
- ❌ レジストレーションを使用している（仕上がりサイズ内）
レジストレーションカラー（C100 M100 Y100 K100）は使用不可。
- ❌ “色網” のオブジェクトが抜きに設定されていない（線）
- ❌ “色網” のオブジェクトが抜きに設定されていない（塗り）
色のオブジェクトとにオーバープリントの指定があると、下の色と色が混ざり予期しない印刷結果になります。（P8参照）オーバープリントの指定を外してください。（PDF に書き出した時点で、既にオーバープリント部分の色は変化しているので、よく確認してください）

【カラー単色のみ】

- ⚠ カラー画像及びグレースケール画像の解像度が 200ppi 未満
- ⚠ ビットマップ画像の解像度が 600ppi 未満
解像度不足によりジャギーが出るなど画像品質に問題があります。高解像度データを用意してください。
- ⚠ カラー画像及びグレースケール画像の解像度が 450ppi を超えている
- ⚠ ビットマップ画像の解像度が 3000ppi を超えている
適切な解像度に直して貼り込み直してください。
- ⚠ 画像のインキの総使用量が 250%を超えている
画像のインキ総使用量が 250%を超えています。「印刷工程」-「出力プレビュー」を使用して、画像をインキの総使用量を確認してください（P18 参照）。非常に細かい部分まで拾ってしまうので、多くのカラー画像で警告が出てしまいます。コート紙用に分解されている画像を探し新聞用に変換してください。
- ⚠ インキ総量が 250%を超えている
Illustrator 上のオブジェクトのインキの総使用量が 250%を超えている時に出る警告です。深い緑やえんじなどのインキ量の多い配色は修正してください。250%を超える配色は急速に黒に近づいていきます。

【モノクロのみ】

- ❌ インキ総量が 100%を超えている（線）
- ❌ インキ総量が 100%を超えている（塗り）
Illustrator 上にカラーオブジェクトがあります。K 版のみにしてください。

サイズ

天 地	
1 段	32mm
2 段	66mm
3 段	101mm
4 段	135mm
5 段	170mm
6 段	204mm
7 段	239mm
8 段	273mm
9 段	307mm
10 段	342mm
11 段	376mm
12 段	411mm
13 段	445mm
14 段	479mm
15 段	514mm

左 右	
通し	379mm
1/2	189mm
1/3	125mm
2/3	252mm
1/4	94mm
3/4	284mm
1/5	75mm
1/6	62mm
1/7	53mm
1/8	46mm
1/10	37mm
ワイド	784mm

	天 地	左 右
小諸佐久浅間信毎会	122mm	125mm
上田信毎会	135mm	118mm
戸倉上山田信毎会	66.5mm	169mm
更埴信毎会	66.5mm	169mm
長野信毎会（全県）	101mm	118mm
長野信毎会（東北）	170mm	118mm
篠ノ井信毎会	113.5mm	93.5mm
松代信毎会	113.5mm	93.5mm
須坂信毎会	170mm	87.5mm
中野山ノ内信毎会	66mm	170mm
みゆき野信毎会	135mm	83mm
小布施高山信毎会	135mm	87mm
松本信毎会（全県）	101mm	118mm
松本信毎会（中南）	170mm	118mm
塩尻信毎会	170mm	118mm
安曇野大北信毎会	84mm	93.5mm
諏訪信毎会	170mm	118mm
伊那駒ヶ根信毎会	170mm	118mm
飯田信毎会	170mm	118mm

■ 雑報

	天 地	左 右
1 面題字下	62mm	35mm
生活圏版題字下	32mm	68mm
突出2段×3.5	66mm	35mm
2段×5.25	66mm	52.5mm
2段×7	66mm	70mm
3段×5.25	101mm	52.5mm
3段×7	101mm	70mm
おくやみ記事中	32mm	14mm
朝刊 TV 面 BS 中	36mm	119mm
BS 上	32mm	29mm
BS 右	40mm	38mm

データ入稿に関するお問い合わせは
マーケティング局 管理制作部
 TEL 026-236-3302 FAX 026-236-3398
 k-seisak@shinmai.co.jp